

平成 17 年 8 月 4 日

各 位

学校法人 東京理科大学
株式会社 三井住友銀行
S M B C コンサルティング 株式会社

東京理科大学と三井住友銀行グループが産学連携推進で提携
～ 大学と銀行グループの連携による企業支援ネットワークの構築 ～

学校法人東京理科大学と株式会社三井住友銀行および S M B C コンサルティング株式会社は、同大学の保有する技術や知的財産等の研究シーズを銀行グループの取引先企業に紹介し、産業経済及び学術の発展に寄与することを目的として、産学連携協力に関する協定を締結いたしました。

東京理科大学では、これまで科学技術交流センター（承認 T L O ）が窓口となって、北海道（長万部キャンパス）から山口県（山口東京理科大学）に至る全国規模のネットワークを生かし、各地域の産学連携事業の推進に積極的に取り組んできました。しかし、民間企業においては、大学や大学の研究シーズと接する機会が少ないため、大学との共同研究開発のニーズを持ちながらも計画等を断念せざるを得ないケースも多いことを実感してきました。

このたび、東京理科大学が保有する 7 8 0 名にのぼる研究者とその研究シーズを S M B C コンサルティングの会員企業（邦銀系最大の会員数 4 万社超）に広く紹介することで、企業のニーズを汲み取り、きめ細かく対応していける体制・ネットワークの構築を目指して協力協定を締結する運びとなりました。具体的な産学連携活動の実用化・事業化においては、三井住友銀行グループが金融・営業情報等に関して多角的なサポートを行います。三井住友銀行グループは、既に国立大学法人と産学連携推進に関する提携を結んでいますが、私立大学との提携は初めてとなります。

記

1 . 提携の目的

東京理科大学と産業界それぞれが持つ、技術・知的財産・ノウハウの融合により、産業技術の向上、新たな事業分野の開拓、研究活動の活性化等を図り、産業経済及び学術の発展に寄与することを目的とします。

2. 提携の内容

- (1) 三井住友銀行とS M B Cコンサルティングは、取引先の中堅・中小企業を主な対象として、企業のニーズを汲み上げ、東京理科大学に提供します。
- (2) 三井住友銀行とS M B Cコンサルティングは、取引先の企業へ東京理科大学の研究シーズ等を紹介します。
- (3) 技術相談・共同研究等によって生まれた研究成果の実用化についても、各当事者が協力対応します。

3. 提携の意義、展望

- (1) 特に独自技術を持つ中堅中小企業において、大学等外部機関と連携した研究開発推進のニーズがある場合、三井住友銀行グループが企業と大学の橋渡しとなってニーズのマッチングを行い、具体的に産学連携活動を推進します。
- (2) 産学連携活動の成果についても、その実用化・事業化において、三井住友銀行グループが金融・営業情報等の面で多角的なサポートを行います。
- (3) 個別のニーズマッチングのみならず、多くの企業と大学が一同に会し、ブース展示・対面情報交換等を行うマッチング交流会も開催します。

具体的な取り組みとして、平成17年9月20日(火)に開催予定のS M B C経営懇話会ビジネス交流会「産学連携・テクノロジーマッチング 2005 in 東京」において、東京理科大学は三井住友銀行グループの取引先企業の技術相談に参加・協力します。

以 上